

令和元年度上半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	日光児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市日光町9丁目1番地3		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,413,527円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,001.55㎡ ◇延床面積:370.16㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、事務室、駐車場(日光コミュニティセンター駐車場と共有) ※日光コミュニティセンター、日光事務所との合築		

●利用状況

		R01上半期	H30下半期	H30上半期	H29下半期	H29上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	15,901	14,923	16,234	14,665	17,139
	移動児童館利用者数	631	1,261	633	919	915
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※14(8)	※13(8)	※14(9)	15	15
	開館日数(単位:日)	155	151	151	151	157

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2名(児童厚生員は所長を含め3名)。 ③「おたより」の発行・配布(小学校、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校)、「ベビータイト通信」の発行・配布・利用パンフレットの配布、児童センターホームページのこまめな更新。 ④苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。意見・アンケート調査結果は館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労継続支援B型事業所施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、適性室温の設定等、節電を実施。廃品の再利用(リサイクル、リユース)に努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①迅速な対応に心がけた。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練1回実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 令和元年6月28日～7月10日 保護者(一般来館・クラブ参加)にアンケート(無記名)を実施。 回答者数94人 【小・中・高校生用アンケート】 令和元年8月1日～8月29日 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者数51人 小学:1年6人、2年4人、3年7人、4年12人、5年6人、6年9人、 中学:1年1人、2年3人、3年0人、 高校:1年0人、2年1人、3年1人、その他1人</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】 島(18人) 則武(17人) 城西(16人) 早田(16人) 鷺山(6人) 長良西(4人) 西郷(2人) 七郷(2人) 黒野(2人) その他(5人) 市外(6人) 【年齢】 10代(0%) 20代(8%) 30代(71%) 40代(17%) 50代以上(3%) 無回答(1%) 【利用頻度】 初めて(4%) ほぼ毎日(0%) 週2～3回(9%) 週1回(24%) 2週間に1回(51%) 月1回(10%) その他(1%) 無回答(1%) 【来館相手】 子(87%) 孫(3%) 友人(5%) 無回答(5%) 【子・孫の年齢】 0才(5%) 1才(38%) 2才(51%) 3才以上(4%) 無回答(2%) 【来館方法】 徒歩(6%) 自転車(6%) 自家用車(87%) 公共交通機関(1%) 【何で知った】 ホームページ(38%) 広報紙・チラシ(12%) 学校(0%) 保育所・幼稚園(0%) 知人・友人(36%) ぎふし子育て応援アプリ(2%) ブログ・SNS等のソーシャルメディア(0%) その他(12%)</p> <p>【評価】 (あいさつ)……… 満足(92%)、ほぼ満足(6%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) 無回答(0%) (言葉づかい)…… 満足(93%)、ほぼ満足(5%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) 無回答(0%) (利用者対応)…… 満足(86%)、ほぼ満足(10%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) 無回答(1%) (利用しやすさ)…… 満足(70%)、ほぼ満足(21%)、普通(8%)、やや不満(1%)、不満(0%) 無回答(0%) (整理整頓)……… 満足(75%)、ほぼ満足(21%)、普通(3%)、やや不満(1%)、不満(0%) 無回答(0%) (清潔感)……… 満足(62%)、ほぼ満足(25%)、普通(12%)、やや不満(1%)、不満(0%) 無回答(0%) (換気)……… 満足(63%)、ほぼ満足(27%)、普通(9%)、やや不満(1%)、不満(0%) 無回答(0%)</p> <p>(小・中・高校生用アンケート) 【学校名】 則武小(17人) 早田小(17人) 城西小(5人) 清流中(4人) 島小(3人) 羽島高(1人) 岐阜聖徳学園高(1人) その他(1人) 市外(2人) 【学年】 小学:1年(12%)、2年(8%)、3年(14%)、4年(23%)、5年(12%)、6年(17%)、 中学:1年(2%)、2年(6%)、3年(0%)、高校:1年(0%)、2年(2%)、3年(2%)、その他(2%) 【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(13%)、週4・5回(18%)、週2・3回(26%)、週1回(17%)、その他 (24%) 【来館相手】 ひとり(29%)、友人(40%)、兄弟姉妹(24%)、父母(5%)、祖父母(0%)、 親戚(2%) 【来館方法】 徒歩(49%)、自転車(24%)、自家用車(18%)、バス・電車(0%)、その他(9%) 【好きな遊び】 ドッジボール(22%)、卓球(11%)、バドミントン(12%)、カードゲーム(6%)、 ボードゲーム(3%)、カラム(18%)、クーゲルバーン(3%)、お人形遊び(5%) レゴ(5%)、おままごと(3%)、大型ブロック(2%)、その他(10%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・要望⇒回答 ・定員がもう少し少ないと子どもたち同士がぶつかったりせず、のびのびと遊べると思います。この遊戯室に30組の親子はぎゅうぎゅうになる気がします。 ⇒人数が多くてご迷惑をおかけしますが、けがのないよう配慮していきたいと思います。親も子も楽しめるよう定員について検討してまいります。 ・参加の年齢がほとんど1歳上の子たちとなるので、同学年のお友だちが出来にくいのが残念です。 ⇒学年で分けられると良いのですが、幼児期は成長の差が大きい(例)4月生まれの子と3月生まれの子では活動に差がでるなど)と思われる。また月齢を細かく分ける曜日・時間がとれない事もありますのでご了承ください。 ・母親と一緒に体を動かす企画があるといいです。 ⇒体操など親子で一緒に出来るものを取り入れていきます。 ・入口がわかりずらかったです。コミュニティセンターから入りましたので ⇒建物が1つとなっておりますので児童センターの入口がわかりづらく、ご迷惑をおかけ致しました。 ・今回時間がゆっくり始まったかな ⇒参加者が揃うまでまっていた時もあり、始まる時間が遅い回もありご迷惑をお掛け致しました。時間通りに始められるようにしてまいります。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	(A)	(A)	(A)
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>□今年度立ち上がったにこニコクラブ(母親クラブ所属)の母親たちと行事を企画し実施し盛況だった。 幼稚園児が参加出来る行事が少なかったため、参加者に喜ばれた。 (やさしいエアロビ講座・みんなで踊ろうフラダンス・オリジナル手形アートを作ろう！) □小学生ボランティアグループ(にこニコ5)が出来、行事の企画から取り組みまで一緒に行った。 (ドッジボール大会・カロム大会・レクリエーション・1年生を迎える会・令和を祝う会など 全21回) 参加された子どもの保護者から「こんな児童館初めて、素晴らしいね」と子どもたちに声をかけていた。 ボランティアグループの子どもの保護者が学校での様子が変わってきたと嬉しそうに話しにみえた。 □子どもたちの主体性を大切にし、関わってきた事で小学生の利用人数が増えた。 (H30上半期3,905人 R1上半期4,438人) □要支援児童に対して学校・主任児童と連携し、子どもの情報を共有し一緒に見守る体制をとった。 □子育てサークルへ備品(消耗品)の貸し出しを行った。(手形スタンプなど) □「ご自由にお持ち下さいコーナー」の品物は就労促進支援の方、小学生・中高生・職員で廃品を利用して協力して製作している。利用者に好評だった(4月～9月 3,612個作成) □おたよりの配布(小学校5、幼稚園・保育所8、中学校、特別支援学校)・ベビータイム通信パンフレット・行事ポスター掲示・ぶりがネット・ホームページ・移動児童館時など広報に務めた。 □諸団体との交流や、日光ふれあい保健センター・主任児童委員を通して、子育て支援に関する情報を得た。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>□中学生の利用が減っているが、彼らの力を借りるような取り組みについて、具体的に計画・実施して頂きたい。 ・お姉さんと遊ぼう「オセロ大会」を実施した(センターだよりに掲載)(小学生参加人数7人) ・「おみやげコーナー」の製作・遊びのボランティアなどをお願いし、一緒に取り組んだ。 ・職員を訪ねて来館する子もいるので、気持ちを受け止め関わり、悩みなどの相談にのった。 (友だち関係・学校・家庭・恋愛) ・不登校(中学生)の子どもの居場所作り ・中高生の利用人数 (H30上半期672人 R1上半期804人)夏休みの利用人数が増えた。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□中高生の利用が夏休みに増となった。今回の結果を踏まえ今後も利用増に繋がる関わり方など取り組みについて検討していく。 ・中高生のボランティア募集をセンターだよりに掲載する。 ・常連の中高生と行事を計画し実施する。 ・不登校の子どもの受け入れ □小学生ボランティアの育成 ・引き続き行事の計画から取り組みを一緒に行う。 ・子どもの自主性を大切にし、子どもの気持ちを受け止めていく。 □母親クラブ ・にこニコクラブと一緒に「ハッピーハロウィン」を企画している。年齢問わず楽しく参加出来るよう計画中 □要支援児童の利用が増えている。学校や地域との連携を密にし取り組み、子どもたちの心を受け止める。</p>

●所管課の意見

<p>○児童センターの「おたより」を担当地区の小・中学校、幼稚園・保育所、特別支援学校へ配布したほか、児童センターが発行している「ベビータイム通信」への掲載、館内でのパンフレットや行事ポスターの掲示、ぶりがネット、ホームページ、移動児童館における直接広報など、広く児童センターの活動内容に関する情報を提供した。また、地域版広報紙「わっちとおまはん」に行事を掲載した。 ○移動児童館について、上半期14回開催し、年間目標数値の24回(平均月2回)に向け順調に実施されており、下半期も引き続き実施されたい。 ○不登校の中学生の受け入れを行い、悩みなどの相談にのるなど来館しやすい環境を整えた。結果として、中高生の利用者数が前年度同期と比べ130人程(19.6%)、前期に比べ400人程(101%)増加した。 ○小学生の自主ボランティアグループが立ち上がり、児童センターの行事を企画から運営まで行ったことで、活気のある雰囲気となっており、小学生の利用者数も前年度同期に比べ530人程(13.6%)増加した。 ○熱中症や度重なる台風への適正な対応によって、大きな事故が発生しなかったことを評価したい。また、今期は災害に対するマニュアル作成に尽力されたことにより、今後施設としての災害への認識や適応力の高まりに期待したい。 ○職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>母親達と幼児向け行事を企画・運営したり、小・中学生に行事を企画・運営してもらうなど、利用者と共に行事を盛り上げたことを高く評価する。 要支援児童への対応は、関係機関と連携し、適切に対応するように努めてほしい。 小中高生の利用人数は一昨年同期と比べ増えているが、全体の利用者はやや減っている。さらなる利用者サービスの向上に務めていただきたい。 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--